

④ 教育相談の基礎的研究報告書

昨年度は、小・中学校児童・生徒の長欠及びかん黙の治療的指導に関する基礎研究を実施したが、本年度は、県下各高等学校において、時おり発生を見る自殺(未遂)に研究の焦点を当て、自殺(未遂)行為を防止するには、いかなる指導と対策がとられなければならないかを探ってみた。なお、本研究は、分析と考察が加えられ、現場での実践に役立つよう工夫されているので、各学校での精神衛生の指導に利用されることを望むものである。

第6節 福島県教育史の編さん事業

1 編集方針

昭和44年度から6ヶ年に亘って推進されてきた、福島県教育史の編さん事業は、本年度で完結することになった。編集方針としては、学制頒布前後から、先人の文化史的業績を発掘し、その遺産を受け継ぐとともに、本県教育の振興を図るという方針のもとに。

- (1) 福島県の政治・経済・文化等の各領域の発展の中で本県教育がどのような特殊性をもって進展したかを明らかにする。
- (2) わが国の教育と本県教育との関連の中で、本県教育がどのような特殊性と役割をもって発展したかを明らかにする。
- (3) 本県における教育現場の教育実践や教育研究およびこれを推進した教育思潮等具体的な資料を集め、本県教育発展の姿を明らかにし、本県教育の振興を図る。

2 計画・内容

44年度より6か年計画で着手し、本年度は次のような刊行をした。

(1) 本史第5巻(統計・年表編)

統計編、年代を戦前(太平洋戦争まで)の部と戦後の部に分け、学校教育、社会教育を中心として計数を掲げる。

年表編は、学制頒布ころから昭和47年度までの、本県並びに国の教育的事項を中心に掲げる。

(2) 資料集 8集

福島県教育史の調査委員が、本史第5巻の年表を作成する段階で、発掘・調査・収集した資料に基づき、各担当郡の年表としてまとめたものである。